

VR空間における食体験の構築 —空想の世界で食事を支援するソフトウェア—



近年、**VR技術**が発展し、アニメやゲームの世界で生活できるようになってきました。

VR空間では現実では**不可能なことが可能**となります。

例えば、男性が**可愛い女の子**の姿になったりすることが当たり前に行われています。

しかし、困難なこともたくさんあり、その一つが**食事**です。

VRゴーグル(HMD)を装着したままでは、現実の**食事が見えず**、外すとVR空間にいる感覚が失われてしまいます。

そこで私たちは**VR空間にいる感覚を保ったまま、食事が簡単に行える**支援ソフトウェアを開発しました。

その名を**Ukemochi(ウケモチ)**といいます。



開発したUkemochi (ウケモチ) を使用した様子
現実のカツ丼を検出し食事領域のみをVR空間に重ね合わせることで、VR空間にいる感覚を保ったまま食事ができる。

VR空間における食体験の構築 — 空想の世界で食事を支援するソフトウェア —

1. VR空間の雰囲気に合わせて食事表示 + 親しい人と一緒に食事



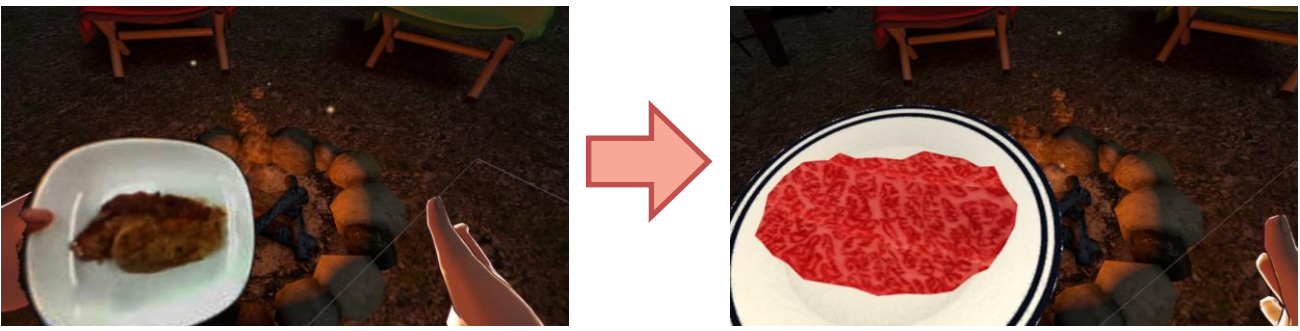
Ukemochiの機能は食事領域を表示するだけではありません。

VR空間の雰囲気に合わせて食事表現を行うことができます。

例えば、現実映像のりんごを **3Dモデルのりんご**に置き換えることが可能です。

親しい友人や恋人と **一緒に食事**をすることもできます。

2. 食事の外見を変化させることによる食事の味の変化や高級化

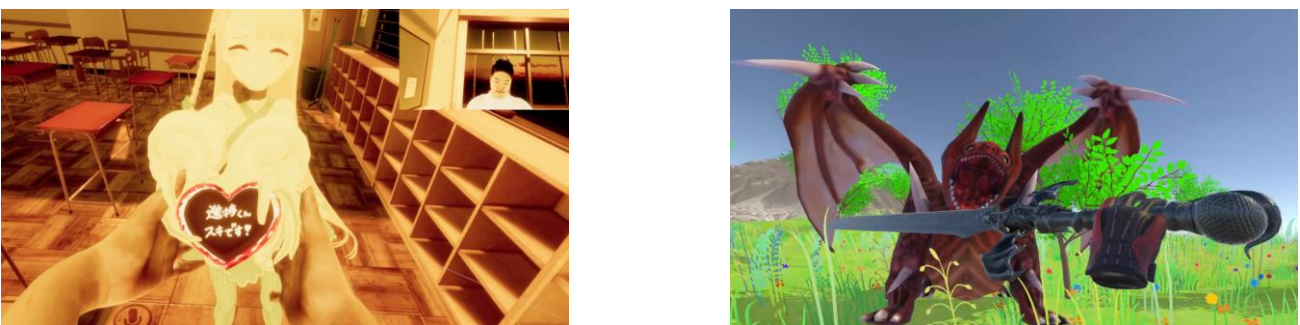


アニメーションオーバーライド機能を用いて、**相手の視点からりんごを食べているように表示**することができます。

食事の外見を変化させることで、食事をより楽しくする事もできます。

安い豚肉を霜降り和牛の味に変化させることができるかもしれません。

3. VR空間での出来事が食事を楽しくさせる



VR空間での出来事も食事を楽しくしてくれるかもしれません。

本命チョコが貰えなくても、VR空間では自分で買った**チョコが美味しく感じる**かもしれません。

また、ドラゴンの肉は存在しませんが、ドラゴン
を倒し、肉を剥ぎ取り、肉を食べる体験によって
ドラゴンの肉を味わえるかもしれません。